

くにさき地域応援協議会 “寄ろう会(え)” 外出支援公開講座

日時：令和元年8月21日(水) 14:00~16:00
場所：国東市役所本庁 4階 委員会室

くにさき地域応援協議会 “寄ろう会(え)” では、九州大学より嶋田暁文教授を講師としてお招きし『外出支援公開講座』を開催しました。地区協議会、公民館、各種団体機関、行政関係部局等114名の参加がありました。昨今、高齢ドライバーの事故や免許返納等、高齢者の移動が課題となる中で、外出支援をめぐる「これまで」と「現在」についての説明や、これから国東市にとって有効と思われる支援策のご提案をいただきました。今回学習したことについて、様々な分野・視点から国東市の皆さんと考えていくきっかけとして、今後につながる時間となりました。みなさんご参加ありがとうございました。



114名 参加

外出支援をめぐる「これまで」と「現在」

～多様なニーズに対応できる「多様な主体による公共サービス供給」の実現を目指して～

九州大学大学院法学研究院 嶋田暁文 教授

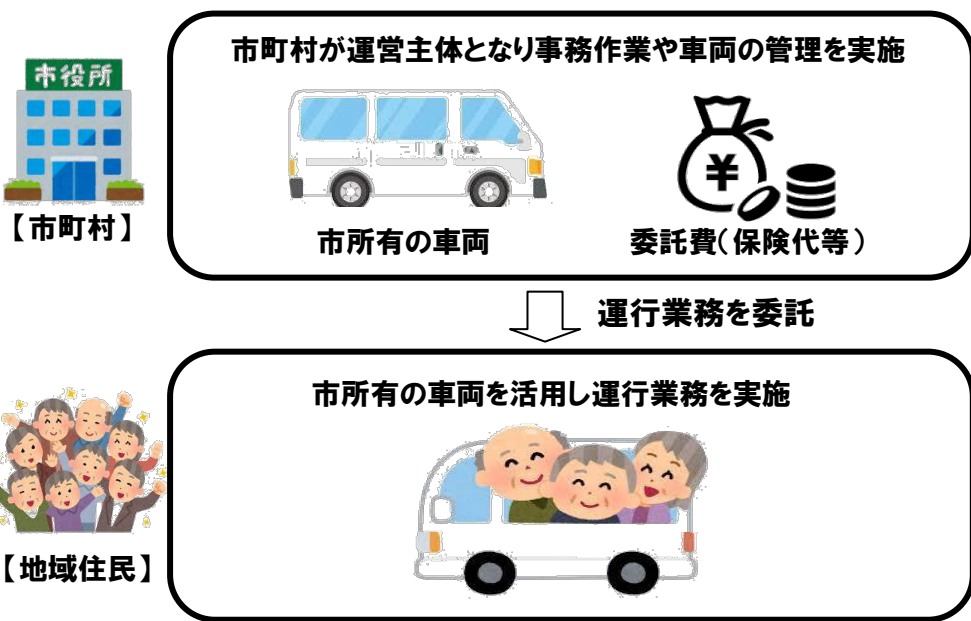
現在、全国的な人口の減少や厳しい財政状況等による公共交通の衰退は、高齢化に伴う外出困難者の増加や免許返納などの問題とも重なって、「地域に住み続けられるかどうか」という「大きな課題」となっています。

そのような現状の中、少しずつではありますが注目を集めているのが、公共交通の利用が困難な方々に対しても、きめ細かな支援が可能な、住民の「互助」による外出支援です。「互助」の取組みについては国も支援の体制を整えるなど、少しずつ活動しやすい形が出来てきています。

国東市では住民の皆さまによって主体的な「互助」の取組みが実践されており、その取組みを市や社協もバックアップしながら少しずつ活動が広がってきています。

そんな国東市にとって今後、下記の様な支援策(資料より一部抜粋)が有効ではないかと、嶋田先生よりご提案頂きました。

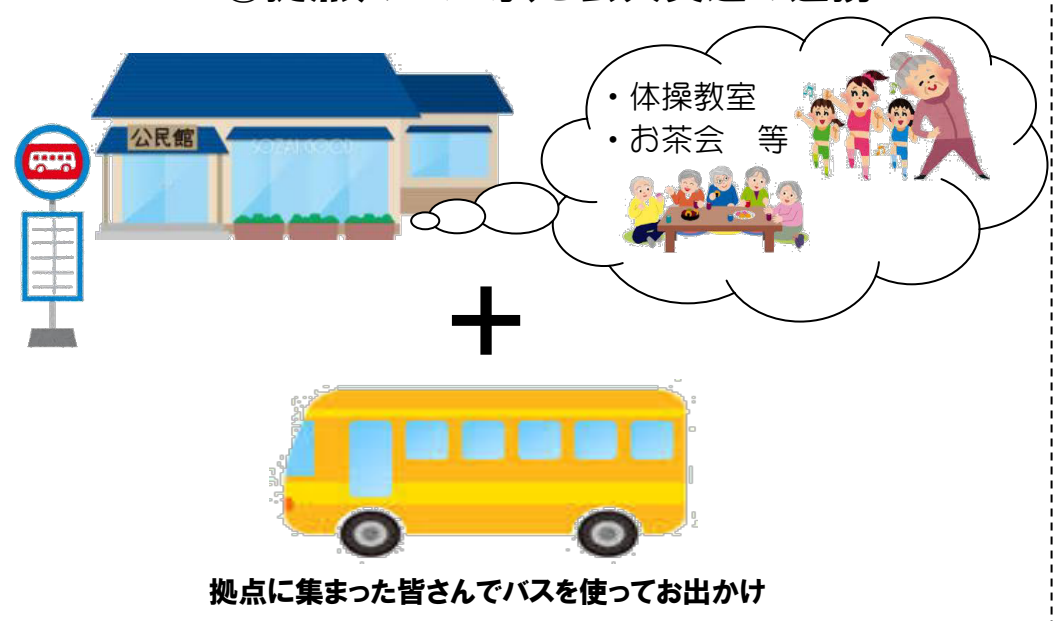
①市町村有償運送(交通空白輸送)+地域への委託



<特徴>

- ・運営に必要な事務作業は市町村が実施
- ・車両や事故時の保険加入を自治体負担で確保
- ・事故時における民事の責任は行政で対応
- ・10人乗りのワゴンであれば普通免許で運転可能

②拠点(サロン等)と公共交通の連携



<特徴>

- ・拠点にバス停を置くことで集まった皆さんが利用可能に
- ・拠点に合わせた利便性の高いダイヤへの改善の必要性

今後、国東市で様々な取り組みを進めていく上で、意見を出し合う場となる“寄ろう会(え)”や、各関係機関の連携の必要性等、たくさんの意見をアンケートにて頂きました。詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ

外出支援公開講座について詳しい資料が必要な方は下記まで気軽にご連絡ください。これからも地域の皆さんの支え合い活動を応援していきます。くにさき地域応援協議会 “寄ろう会(え)” をどうぞよろしくお願い申し上げます。

国東市役所 高齢者支援課

☎ 0978-72-5189

国東市社会福祉協議会 福祉支援課

☎ 0978-64-7100

